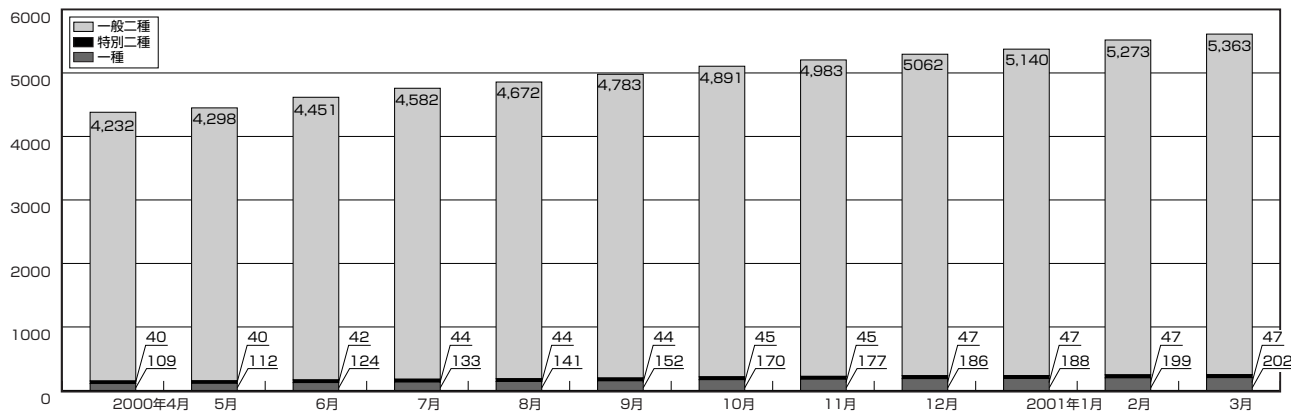


## 第2章 インターネットサービスプロバイダー

### 個人向けプロバイダー事業者動向① 完全固定料金制を導入

資料4-2-1 総務省に届けられているインターネットサービス事業者数の推移



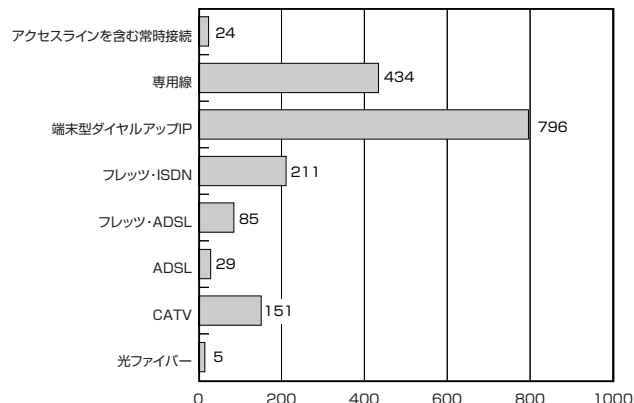
出所 総務省の資料より作成

資料4-2-2 2000年に実施されたおもなプロバイダーの月額料金の値下げ

プロバイダー	旧料金	新料金	実施月
@nifty	3,000円(150時間まで) 5,000円(無制限)	2,000円(無制限)	9月
ASAHIネット	2,900円(150時間まで)	1,950円(無制限)	9月
BIGLOBE	3,000円(150時間まで)	2,000円(無制限)	9月
DION	3,000円(150時間まで)	1,950円(無制限)	7月
DreamNet	2,900円(無制限)	1,980円(無制限)	11月
OCN	2,800円(100時間まで)	1,950円(無制限)	11月
ODN		1,950円(無制限)	
Panasonic Hi-HO	2,000円(無制限)	1,800円(無制限)	10月
So-net	2,500円(300時間まで) 5,000円(無制限)	2,000円(無制限)	9月
ぶらら	1,800円(23~2時従量課金) 3,000円(無制限)	1,650円(23~2時従量課金) 1,950円(無制限)	12月

出所 インプレス刊「インターネットマガジン」2001年2月号を元に作成

資料4-2-3 対応回線別におけるインターネットマガジン掲載プロバイダー



(注) 掲載プロバイダーは全部で991社。2001年5月1日現在。複数キャリア対応もある。

出所 インプレス刊「インターネットマガジン」2001年7月号を元に作成

## 解説

総務省に届け出のあるプロバイダーは、5000を軽く突破している。だが、インターネットマガジンの調べによると、実際に接続事業を行っているプロバイダーは1000社程度とみられる。このようなプロバイダーの数は、95年から97年のビッグバン期以後は緩やかな勾配を描いて安定的に増え続けているが、2000年には多くのCATV局が第一種通信事業者の免許を取得してインターネット事業に参入したという特徴的な傾向がみとれる（詳細はP.220）。

一方、従来のダイヤルアップ型プロバ

イダーも家電系並びに通信事業者系を中心に順調にユーザー数を伸ばした。特に昨年は第一種通信事業者系プロバイダーの独断場であった電話代込みのコースが、OEM供給される形で大手の第二種通信事業者系プロバイダーにも提供され、初心者を中心に大きな支持を得た。その一方で、それまでユーザー間の不公平性排除を理由に完全固定料金の導入をかたく拒んできた大手プロバイダーも、市場からの定額制要求の圧力とさらなる競争原理進展のもと、各社足並みを揃えるように月額2000円程度の完全固定料金の

導入に踏み切った。「フレッツ・ISDN」が本格サービスに移行して急速にユーザーを増やしたことも、大手プロバイダーにおける定額制導入を後押しした要因であろう。昨年は、このように大手プロバイダーを中心に、料金コースのフルラインナップ体制が整備された最初の年でもある。ただ、中・上級者を中心に回線品質に対する要求は年を追うごとに高まっており、これからは、生き残りをかけて、高い品質をより安い価格で提供する厳しい競争が展開されることになるだろう。

(山崎潤一郎 有限会社インサイドアウト代表)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)